



## 宇中の大木 倒れる！



非常に強い台風21号が日本列島を襲い、関西地方を中心に全国各地に大きな被害をもたらしました。石川県には9月4日（火）の夕方から深夜にかけて通過し、地域の方々が避難所に避難したり、道路や建物を壊したりするなど、大きな被害や爪痕を残しました。

本校でも、残念で非常に悲しい出来事が起こりました。

宇ノ気中学校の創立当初から、グラウンドに立っていた樹齢70年を超える大木が、台風による猛烈な強風により、木の真ん中あたりから折れてなぎ倒されてしまいました。（倒れた木は、ガラス張りの温室の屋根をも壊してしまいました。）樹齢70年の太い幹をした木が倒れ、職員、生徒ともに、驚きとともに悲しい思いをしています。

旧校舎の時から校舎の脇に立ち、学校や生徒たちを見守ってくれた大木。この木は、グラウンドに立ち続け、木陰をつくって生徒たちに癒しを与えてくれた「宇ノ気中のシンボル」とも言える木でした。その大切な木が倒れてしまい、自然の力の大きさを痛感するとともに、宇ノ気中の大きな歴史的財産を失うこととなり、とても残念でなりません。



昨日の午後、急遽、全校生徒とともに、宇ノ気中を最も古くから見てきた木を見送る全校集会を行いました。生徒には、校長として、そして一人の卒業生として、木とともに過ごしてきた宇ノ気中の歴史、宇ノ気中のシンボルとも言える木に対する思いを話しました。この先、運動会もあり、早速、撤去作業を行い、切り株は「思い出のベンチ（仮称）」として残すこととしました。



保護者や地域の皆様の中にも、この木に対して思い出のある方も多いのではないかと思います。これまで宇ノ気中を見守り続けてくれた木に対し、感謝とお礼の気持ちを伝えたいものです。

（※ 学校のホームページに関連記事／写真を掲載しましたので、ご覧ください。）